かなかった。ストライキの数は加速度的に激増した。がこれは ストライキ継続日数の増加 ストライキ参加者の数の激烈化等に依って深刻化したがその殆んどすべては労働者階級の経済防衛の立場から出た受動的のものである。我々は然し この経済斗争の政治性増加の上に その斗争方法の激化に二つの重大なる政治的意義を見出す。第一は之れらの経済斗争に参加する広汎なる大衆のブルジョア諸勢力への政治的対立意識、即ち階級意識の結晶と、第二にこの広汎なる経済斗争の激化はよしその斗争が一つ一つが敗北に終るにしても労農大衆が次の斗争段階に踏み出すために必要な斗争経験を与へると同時に組織を拡大強化し得る。我々はかゝる時期こそ大衆的政治斗争を強力に展開し 大衆を組織し得る重大なる機会であるとなし この経済的内容を持った戦ひを直接遂行して行く労働組合、農民組合の拡大強化が必要であると同時に、反動的帝国主義ブルジョアジーの支配に対して、いやしくも反対勢力としての作用をなしてゐる一切の階級と社会層とを動員して強大なる反ブルジョア戦線を形成し之れら一切の階級の凡ゆる部分を統一的に代表し、その政治的日常利益及び要求を代表して斗ふ大衆的組織として労農政党の拡大強化を絶叫し その故に敵に対するよりは寧ろ互に相せめぎ合いて来た分裂せる戦線を統一し 単一強力なる戦線の結成に力を致し―― 無産政党の全線合同に邁進して来た。

七月五日、全労農大衆の歓呼に迎へられて、労農、大衆、社民実現の三党は合同して全国労農大衆党を結成した。全国労農大衆党は大まかに、

その任務を規定して「政治的自由の獲得を目標とする大衆政党が、より決定的な飛躍への堡塁として政治的前提条件を戦ひ取るための武器」となしてゐる。

我々は今大衆政党のこの構成とこの任務とを厳重に極めることが絶対に必要だ。戒むべきは大衆政党が直接プロレタリアのヘゲモニーのための斗争を敢行するといふやうな誤れる考へ方だ。これこそ前衛党に対する見方をまで誤まらせ労農政党の階級性を喪失させる因をなす(フラクション運動を我々はこゝで云々してゐるのではない、だとすると問題は自ずと別である。)

合同は既に完成したのだ。全勢力を大衆政党が課せられてゐる任務の遂行に向って押し進めよ。自然発生的に起り、且つそうであった斗争も意識的計画的な斗争に押し進めよ。ガリ〳〵バラ〳〵の斗争は『限度と條件』に対する考察の上に立って、意識的斗争に発展せしむべきだ。労農大衆の日常直接の利害を代表した政策がかゝげられるべきだ。それが如何に初歩的なものであらうとも、大衆の不平不満を勇敢に取り上げ、日常斗争を激発せよ。大衆の不平不満、反抗、要求を統一し、大衆斗争を激発しろ。斗争に依る大衆の組織訓練、一方に於いては斗争の意識化、他方に於ては政策の具体化、而して無産階級解放に対する明確なるプログラムと、そのプログラムと応じた大衆政党の当面の斗争の提示、これこそ結党当時明らかに規定された当面なすべき任務であったのだ。